



## 御正忌報恩講のご案内

阿弥陀さまの大慈悲をあきらかにし

て、私たちに浄土往生の道を示して下

さつたご開山親鸞聖人の九十年のご苦勞

とご恩徳を讃え、仏恩報謝の心をよせあ

つて、大切につとめさせていたたく

報恩講。

浄土真宗では、もつとも大事なご法要

です。お誘いあわせお参り下さい。

一月十四日(木) 昼一時半 夜七時

十五日(金) 昼一時半 夜七時

夜十一時

十六日(土) 昼一時半

※ 十六日は親鸞聖人のご命日です。  
 特に大切に勤めます。

## 報恩講お斎のご案内

次の通り、お斎のご案内を申し上げます。

【十四日】

「昼」

向山・久原・土手

中村・大竹・市・湯免

下中小野・辻並

「夜」

野波瀬西側

(五〜十三班)

【十五日】

「昼」

豊原・平野・浅田・沢江

上ゲ・殿村・上東方

下東方・小島・町外

「夜」

野波瀬東側

(二〜四班)

室生

※ 十六日は、お斎はありません。

※ 都合の悪い方は、指定以外の日  
 にお参りされても構いません。

## お斎受付のお願い

野波瀬の世話人の方は、毎年のように担当  
 区域の、お斎受付のお世話をお願いします。

## 年回忌表

2016(平成28)年

昭和91年に当たります。

一周忌 2015(平成27)年往生  
 三回忌 2014(平成26)年往生  
 七回忌 2010(平成22)年往生  
 十三回忌 2004(平成16)年往生

十七回忌 2000(平成12)年往生  
 二十五回忌 1992(平成4)年往生  
 三十三回忌 1984(昭和59)年往生  
 五十回忌 1967(昭和42)年往生  
 百回忌 1917(大正6)年往生

# 御正忌報恩講とは



親鸞聖人しんらんしょうにんが亡くなられた日をご縁えんとして開かれる法要ほうようです。親鸞聖人は七五〇年も前に亡くなられましたが、聖人がその一生をかけて明らかにされたお念仏の教えは、それを生きる力、そして「よりどころ」とした、たくさんの念仏者ねんぶつしやを生み育ててきました。私たちの先輩方は、この御正忌ごしょうきという法要を一番大切にされ、人生における本当に尊いとうとことを聴聞されたのです。門徒みんながこの御正忌にお参りすることが、慣わしならでもありました。十五日には、夜の座の後に午後十一時の通夜法座つやほうざもあります。（平成六年までは、十六日朝五時のお朝事あさじまで、徹夜てつやでお番をするお通夜を、極楽寺でも勤めていました。）毎年御命日ごめいにちには、記念写真を撮っています。ぜひ、お参り下さい。

2015年の  
16日御命日に  
お参りされた皆さん



お寺のお世話をして下さい、総代・世話人の皆さんです。よろしくお願いします。

総代長	木村慎治さん(野波瀬)		
副総代長	山中重良さん(豊原)	総代	宮崎忠彦さん(野波瀬)
総代	藤田平二さん(仙崎)	総代	磯昭正さん(沢江)
会計	松野行利さん(野波瀬)	監査	野村昭一さん(上東方)
野波瀬西側	斉藤達男さん	市・湯免	吉見周平さん
	綿野節男さん	土手・中村・大竹	竹林啓助さん
	宮崎忠彦さん	久原	藤村勇次さん
	青海隆司さん	向山	木村重彦さん
	大田宇三郎さん	上東方	西村一夫さん
	岩本 勉さん	下東方・小島	小林 昭さん
野波瀬東側	藤永拓之さん	豊原	山中博道さん
	田村成治朗さん		重岡幸作さん
	石川義文さん		宮本 智さん
	江本富夫さん		坪野実人さん
	岩本国久さん	平野	山中洋介さん
辻並・中小野	松並唯夫さん	浅田・沢江・上ゲ・殿村	大田忠男さん



極楽寺だよ！  
エッセイ

## 今年一年をふりかえって

住職が選ぶ、心に残った  
あのニュース



いよいよ、今年も終わろうとしています。皆さんもそ

れぞれに、出会いや別れ、喜びや悲しみ、心に残った出

来事があったのではないのでしょうか。ということで、今年最後の『オ

シエノカケラ』は、住職が独断で選びました「2015年心に残った

あのニュース」を発表したいと思います。

## 【大河ドラマ『花燃ゆ』放送！】

今年は何といっても、大河ドラマ『花燃ゆ』です。ドラマの視聴率

は伸び悩み、極楽寺とゆかりの深い楯取寿さん（主人公の姉）の存在

感は最後まで薄いままでしたが、長門市村田清風記念館で開催された

企画展の企画に携わり、講演依頼もあり、大型バスで極楽寺への参

拝者がたくさん来られるなど、『花燃ゆ』効果でバタバタの一年にな

りました。何より、このご縁を通していろんな人との出会いが広がり、

良い経験をさせていただきました。▼

## 【五郎丸選手のあのポーズに注目！】

ラグビーのワールドカップ日本代表の活躍は、凄かったですね。南

アフリカ戦の勝利を決めたトライは、録画で見ても大興奮！五郎丸選

手がペナルティキックを蹴る前に行うルーティーン

は、一躍有名になりました。あのポーズは明ら

かに儀式・儀礼です。私たちの世代は「形よ

り心だ」という考え方が一般的でした。ところが

形をおろそかにすることで、大切な心がたくさん見失われてしまった

ような気がします。五郎丸選手から「形を整えることで、心が整え

られる」ことがあるのだということを教えられました。考えてみれば、

イチロー選手も体操の内村航平選手も、大相撲の力士も、みんな事前

の儀式で心を整えています。形さえやっておけばそれでいいというわ

けではありませんが、形があるからこそ育てられ、形があるから迷っ

たときに立ち戻ることができ、形を通して伝わっていくのでしょうか。

宗教者として、儀式・儀礼の重要性を再確認させられた次第です。▲



## 【マンションが傾いた?!】

横浜市のマンションが傾くという事件が起こりました。強固な地盤に打ち込まなくてはならない



杭を、データの改ざんで誤魔化したことがその原因。住民の方々は、怒りと不安な思いの中で、今なお暮らしておられることでしょう。

しかし、この事件。住民の方には失礼になるかもしれませんが、起こるべくして起こったように思えます。近頃は、目には見えない部分を、粗末に扱う時代です。「縁の下の力持ち」という言葉は死語となり、見えないところで支えて下さる方を敬うことなどなくなりまして。「人を殺したのは、目立ちたかったから」という若者が出てくるのですから、見える部分、目立つところばかりが大切にされているということなのでしょう。その上、速さ、安さばかりが求められるのですから、見えない部分が手抜きになるはずですよ。

お念仏に育てられ、生涯を幼児教育に捧げられた東井義雄先生は、「見えないところがほんものにならないと、

見えるところもほんものにならない」

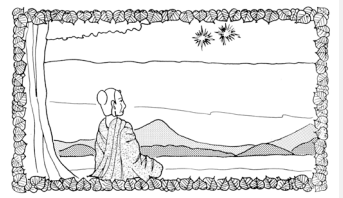
と言われています。この事件を通して、私たちは大切にすべきものは何かを学ばなくてはなりません。▼

## 【日本はどうなっているの?】

オウム真理教の事件や9・11同時多発テロ以降、宗教への信頼が大きく揺らぎました。「どうして宗教が人を殺すのか」「宗教が戦争をすすめてどうする!」「究極のところ、宗教は世界平和を求めるものではないのか」と。今年もパリを始め世界各地で「神の名のもとに」と大規模なテロが起き、たくさんの方が亡くなられました。「人を殺す理由に、私たちの神の名を使わないでくれ。」と、イスラム教を信仰しておられる方の多くは思われているのではないのでしょうか。

ところが今の日本では、宗教者が平和を語りづらい時代になっているような気がしてなりません。宗教者が平和を語れない世の中って、逆にどうなのでしょう。おかしくありませんか? 宗教者の端くれとして、今こそ堂々と平和を語っていかねばならないと思うことです。

さてさて、いろんなことがあった一年でした。皆様には、様々なご迷惑をおかけしました。本当に、有難うございました。来年は一体どんな年になるのやら。今年の反省を踏まえながら、より良い一年にしたいものです。■



極楽寺揭示伝道  
けいじてんどう

胸に

手を当てて

考えてみる



極楽寺揭示伝道

## 12月の言葉

近頃、「胸むねに手を当てて考える」という言葉を聞きません。自分を振り返ることもなく、人を責め、なじり、爽快感そうかいかんを得るふるまいがテレビをはじめ日常生活にも広がっていないでしょうか。胸に手を当てると、前に進むことができませぬ。一度立ち止まる。そして自分の生き方を振り返り、深く見つめた上で、それでも出てくる言葉には重みおもがありますが、それ抜き

の言葉がどれほど軽々かるがるしいものか、もっと自覚すべきではないでしょうか。近頃はネットやスマホが発達して、自分の意見をすぐに発信できる時代になりましたが、一度も胸に手を当てることなく発せられた言葉が作り上げた世界が、どれほど殺伐さつぱつとしていることか。私自身胸に手を当てることを忘れてはならないと、考えさせられるところです。

あるお母さんが、息子がテストであまりにも酷い点数をとってきたものですから、「頭を抱かかえて、こう言ったそうです。「あなた、ちゃんと友達あそは選えらびなさい。バカな子と遊あそんでいたら、バカになるのよ。成績せいせきのいい子と遊あそびなさい。」すると彼は、「わかったよ。じゃあ、これからは頭のいいヤツと遊ぶことにするよ。」と答えました。

それからしばらくして、次のテストの結果

が出たのですが、また酷い点数をとってきたのです。お母さんは頭を抱かかえて、「この前ちゃんとやったでしょ！バカな子とばかり遊あそぶから、こんな点数ばかりとってくるのよ。ちゃんと友達あそは選えらびなさい。」

そしたら息子は、こう言いました。「いやあ、お母さんの言った通りだよ。実はあれから、成績のいいヤツと遊ぶようになったんだ。そしたら、今回そいつの点数が、思い切り下がったんだよ。バカと遊あそぶとバカになるって、本当だね。」

一番問題なのは、実は自分の子だったというオチなのですが、でも、自分がこんな不快な状況じょうきょうにいるのはすべて周りまわりのせいだと、自分を見つめることなく周りを攻撃こうげきする風潮ふうしゅうは、モンスターペアレンツやクレーマーと言われる人たちだけではなく、今のマスクの在り方も含めて、現代社会に生きる私たちの生活に深く根付ねづいているように思え



ます。私たちは、服装やお化粧品には気を配りますが、どんな生き方を晒しているのかには、どけだけ気をつけているでしょうか。

近頃は、「他力本願」という言葉の意味を、

人まかせ、無責任な態度をあらわすもののように受け止めることが一般的になっています。

「他力はダメだ。自力でなければ。」と言われるように。では自分が、自身の力だけで行っていることがどれだけあるのか、胸に手を当てて考えてみて言っているのでしょうか。

様々なはたらきの中で生かされて、今の私の人生があるのです。そのはたらきを深く味わう態度を「他力」の生活というのでしょうか。そして親鸞聖人は、この私を底の底から丸ごと支えて下さる阿弥陀様の願い（本願）の世界があることを示されたのです。

そんな世界と出遇った人が語る「他力本願」という言葉の豊かさは、胸に手を当てたことがない人には到底わかるはずありません。■

# 人生最大の病いは 自分勝手 である

極楽寺掲示伝道



## 1月の言葉

病いとは、人間や動物の心や体に不調または不都合が生じた状態のことをいいます。その要因は、生活環境といった外的なものなど様々ですが、自らの生活習慣によるものも大きな要因の一つです。食生活によるものや、運動不足など、日頃のふるまいが病いを招くことは、私も身をもって痛感しているところです。まさに、自分を苦しめる状態を自ら作り続けている。その生き方こそが、既に病んでいるのかもしれない。

昔の日本には、「うばすて」という習慣があったと伝えられています。食料事情の貧し

い時代、口減らしのために、ある一定の年齢になるとお年寄りが山に捨てられたという悲しい歴史です。その「うばすて」が行なわれていた時代、とんでもない男がいて、早く母親を捨てられる年になればいいがと待っていたそうです。そして、遂にその時がやってきました。その男は、竹で母親の入るだけの籠を編みました。その中へ母親を放りこみ、息子と二人で代わる代わる背負い、山に登っていきました。やっこのことで決められた場所にたどりつき、籠ごと母親を放り出して、二人は山を降りはじめます。しばらくして息子が「父さん、俺忘れ物をして来た。取りに帰ってくる。先に行つていてくれ。」何を忘れたんだ」「籠さ、籠だよ」「そんなものもう要らんじゃないか。捨てておけ」「そうはいかん。あんたが要らんでも、俺はいる」「なぜ?」「だって考えてみるよ。その内、あんたを捨てにやならんだろうが。その

時に要るじゃないか。」聞いた父親はしばらく  
呆然としていましたが、一目散に山へかけ登  
り、母を背負って帰ったということです。常に  
わが身を振り返らないと、とんでもないことを  
していても気がつかないままになってしまい  
ます。自分勝手な行為が社会を作り上げ、自分  
を苦しめていくのです。

仏教では、苦しみの根源を貪欲（むさぼりの  
心）・瞋恚（怒りの心）・愚痴（真実を知らない  
無知）の三毒の煩惱によるものだと指摘しま  
す。煩惱による自分勝手さが、自らを苦しめる  
状態を作り上げているのだと。ところが、その  
煩惱のままに生きることを「自分らしく生き  
る」「自由に生きる」ことだと勘違いしてはい  
ないでしょうか。まさに、社会全体が病んでい  
るのかもしれない。身を慎み、自らを振り  
返り、学び問うていく生き方の尊さを、仏法を  
通して教えられています。 ■

## 『花燃ゆ』放送終了！

NHK大河ドラマ『花燃ゆ』全50回が、12月13日をもって  
終了しました。振り返れば、貴重な経験と出遇いをいただい  
た一年だったと思います。

さて、その中でも特に感じたことを一つあげますと、  
ドラマはあくまでもドラマだということです。「史実とは  
違う」という声もよく聞きますが、やはり製作側としては  
主人公を魅力的にしなくてはなりませんし、わかり易く整理しな  
くては、視聴率もあがりません。そこには、必ず取舍選択が生まれます。捨てられた  
部分に思い入れがある方は、不満な思いをされるのは仕方ありませんが、残念です  
がドラマなのです。司馬遼太郎の名作『竜馬がゆく』も、主人公を魅力的にするため  
に、薩長同盟や大政奉還等すべて竜馬の手柄にしています（この小説での楯取素彦の  
扱いは、寂しいものが・・・）。でもそれは、あくまでも小説であり、司馬さんの竜  
馬観であって、それを鵜呑みにする態度が問題なのでしょう。

これは、ドラマや小説に限らず、報道にも言えます。ニュースも、記者や新聞社・  
TV局の立ち位置から見えたものでしかないわけですから、事実ではあっても真実で  
はありません。そこから「なぜこのように切り取ったのか」「こっちの立場の人たち  
の思いは、なぜ伝えられないのか」と、こちら側が深く読み取らなければなりません。  
それは、人間の営みを深く見つめるまなざしでもあるのです。

何やら違った方向に話が飛んでしまったようですが、様々なことを考えさせられ、  
学びが深まるご縁をいただきました。とは言いながら、もう少し寿さんが全編にわた  
って活躍しても・・・と思っている私のいじましさを、改めて教えられています。 ■



### 作法一口メモ



お経本は、大切に扱ってください。  
足の裏のつかない場所に置きましょう。

お経本は大切なもの。膝の上や、座布団の上に置きましょう。

# 除夜の鐘つきのご案内

つきはじめ  
11時50分

毎年、極楽寺では、おでんを用意して、大晦日に除夜の鐘つきを致します。熱々のおでんをほおばりながら、新しい年が明けるのを共に味わいましょう。懐かしい人と再会できるかもしれませんよ。撞き始め十一時五十分より。終了後、初参拝のお勤めをします。



## 元旦会 1月1日 朝10時から



時間は約三十分。家族全員でお参りされる家もあります。ぜひ、お参り下さい。わが家のお仏壇も打敷をかけて飾り、新年を迎えましょう。

※ 参拝者には、記念品を用意しております。

### 二〇一六年極楽寺のご法座

- ◆ 一月一日 朝十時 (毎年) 元旦会
- ◆ 一月十四日～十六日 (毎年) 御正忌報恩講
- ◆ 四月十三日～十四日 春の永代経法要  
講師 福岡 光伝寺住職 木村大信 師
- ◆ 五月二十一日 (毎年) 清光仏教婦人会 降誕会
- ◆ 六月十五日～十六日 夏法座  
講師 俵山 正福寺住職 上原泰教 師
- ◆ 八月十四日～十六日 (毎年) 盆法会
- ◆ 九月二十二日 (毎年・秋分の日) 納骨堂追悼法要
- ◆ 十一月十四日～十五日 秋の永代経法要  
講師 大阪 如来寺住職 釈 徹宗 師
- ◆ 十二月十八日 (毎年) 清光仏教婦人会 報恩講
- ◆ 十二月三十一日 (毎年) 除夜の鐘つき 初礼拝

ご法座には、門徒式章をつけてお参りしましょう



リトップ収集  
ありがとうございます

山口別院で換金され、県内福祉施設へ寄付されます。

今年は、15.1kg (空き缶約 50,333 個分)

### たすけあい募金

本堂に設置した募金箱へのご懇志です。

合計 10,562 円

ありがとうございました。本願寺を通して、被災者の方々への義援金として寄付いたしました。

□ 今年の流行語大賞に一言。【トリプルスリー】柳田、山田両選手の活躍は凄かった！でも黒田投手の「男気」はどうなった？やはり上半期は不利なのか。【安心して下さい、はいてますよ】芸人さんでは、これだけがトップテン入り。「あったかいだからあ」「ラッスンゴレライ」や昨年の「ダメよ～」等、私たちって飽きるの早すぎませんか？【爆買い】中国パプルの恩恵か。日本でも「パプルの頃は良かった」と言う人がいますが、はじけた後処理の苦勞、そして傷跡がどれだけ大きいことか。「自分の家を焼く者は、その時だけは温かい」ということわざがあります。目先の楽しみだけを求めたその先は？簡単にはじける泡は、より所にはなりません。[住職]